

2025 年 1 月 30 日 第 1. 1 版

研究協力のお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学病院 感染対策室

大阪医科薬科大学病院 総合診療科

記

研究の名称	SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）入院前 PCR スクリーニング検査の有効性と適切な対象者に関する検討
対象	2022 年 8 月 1 日から 2022 年 8 月 31 日（第 8 波極期）および 2023 年 2 月 1 日から 2023 年 2 月 28 日（第 9 波終息期）までの期間に入院された患者さんの診療情報を研究に利用いたします。本学では、約 4,000 例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：COVID-19 の院内感染防止のため実施している入院前 SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）スクリーニング検査について、その有効性を評価し、どのような患者さんにスクリーニング検査を実施することが、院内感染を防ぐために有効であるかについて検討します。これにより、医療資源の効率的活用と院内感染対策の両立を目指します。</p> <p>利用方法：患者さんの診療情報を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。</p> <p>※本研究は本学単独研究であり、外国への試料・情報の提供はありません。</p> <p>利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日</p>

利用し、又は提供する試料・情報の項目	<p>情報：年齢、性別、診療科、入院日、退院日、入院形態、PCR 検査実施日、PCR 検査結果、PCR 検査の Ct 値、検査方法、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の既往歴、入院時の症状の有無、COVID-19 関連症状の種類、院内クラスターへの関連の有無、入院後の経過</p>
利益相反について	<p>本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。</p> <p>当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨お伝えします。</p> <p>（本研究は研究責任者の個人研究費を資金源として実施されます。）</p>
<p>研究者名</p> <p>【研究責任（代表）者】</p> <p>大阪医科薬科大学病院 感染対策室 室長 小川 拓</p>	
<p>参加拒否の申し出について</p> <p>ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。</p> <p>参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。</p>	
<p>問い合わせ窓口</p> <p>【研究機関】</p> <p>〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号 大阪医科薬科大学病院 感染対策室</p> <p>担当者 小川 拓</p> <p>連絡先 072-683-1221（代） 内線 2780</p>	

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学病院
研究責任者 小川 拓 殿

研究の名称	SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）入院前 PCR スクリーニング検査の有効性と適切な対象者に関する検討
-------	---

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）